

3 果 樹

①なし(幸水)

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
なし	露地栽培	◎	◎	◆	○	◇			×-×	◇			◎	3,000

凡例:○人工受粉 △摘果 ×-×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
幸水	本/10a 40	基肥	7	6	6	3月上旬
		追肥	4	0	4	5月上中旬
		追肥	4	0	0	9月上旬
		合計	15	6	10	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。家畜ふん堆肥は春先に施用する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ リン酸が蓄積の傾向にあり、土壌診断により、基肥量を削減する。
- ウ リン酸が過剰の場合は、低リン酸肥料の活用を図る。
- エ カリが過剰の場合は、低カリ肥料の活用を図る。
- オ 基肥の施用時期を秋冬期から3月上旬に移行することにより、凍害の発生を防ぐ。

3 その他

- ア 樹勢が低下した樹では、排水が良いほ場ではホールディガー等で主幹部から2m程度離れた場所に穴(直径30cm、深さ50cm程度)を掘り、堆肥を入れて埋め戻し、表面は土をかぶせ乾燥を防ぐ。1樹年2か所程度実施する。排水が悪いほ場では、滞水し根が湿害を受けるので実施しない。

なし(豊水・彩玉)

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
なし	露地栽培	◎	◎	◆	○	△	◇		×	×	◇		◎	4,000

凡例:○人工受粉 △摘果 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
豊水 彩玉	本/10a 40	基肥	7	6	6	3月上旬
		追肥	2	0	2	5月上中旬
		追肥	2	0	2	6月上旬
		追肥	4	0	0	9月中下旬
		合計	15	6	10	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。家畜ふん堆肥は春先に施用する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ リン酸が蓄積の傾向にあり、土壌診断により、基肥量を削減する。
- ウ リン酸が過剰の場合は、低リン酸肥料の活用を図る。
- エ カリが過剰の場合は、低カリ肥料の活用を図る。
- オ 基肥の施用時期を秋冬期から3月上旬に移行することにより、凍害の発生を防ぐ。

3 その他

- ア 樹勢が低下した樹では、排水が良いほ場ではホールディガー等で主幹部から2m程度離れた場所に穴(直径30cm、深さ50cm程度)を掘り、堆肥を入れて埋め戻し、表面は土をかぶせ乾燥を防ぐ。1樹年2か所程度実施する。排水が悪いほ場では、滞水し根が湿害を受けるので実施しない。

②ぶどう(巨峰・有核)

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ぶどう	露地栽培	◎	◎			○	◇		×	×			◆	1,200

凡例:○開花 △摘粒・摘房 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
巨峰 (有核)	本/10a 5	基肥	3	6	3	11月下旬～12月上旬
		追肥	1	0	2	6月中旬
		合計	4	6	5	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ リン酸が蓄積の傾向にあり、土壌診断により、基肥量を削減する。

3 その他

- ア 樹勢の弱い樹や地力の低い地域は、結実の確認後に窒素成分の葉面散布を行う。

ぶどう(シャインマスカット・無核)

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ぶどう	露地栽培	◎	◎			○	◇			×	×		◆	1,800

凡例:○開花 △摘粒・摘房 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
シャインマスカット	本/10a 10 (短梢栽培、 H型栽培)	基肥	4	8	4	11月下旬～12月上旬
		追肥	2	0	2	6月中旬
		合計	6	8	6	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ リン酸が蓄積の傾向にあり、土壌診断により、基肥量を削減する。

3 その他

- ア 樹勢の弱い樹や地力の低い地域は、袋かけ終了後に窒素成分の葉面散布を行う。

③くり

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
くり	露地栽培	◎	◆	◎		○	○	◇		◇				400

凡例:○開花 ×-×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
利平 ぽろたん	本/10a 40	基肥	8	8	8	2月中旬
		追肥	4	0	4	7月上中旬
		追肥	4	0	4	9月下旬
		合計	16	8	16	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。

3 その他

- ア 礼肥は収穫直後に施用する。

④すもも

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
すもも	露地	◎	◎	○		△	◇	×	◇				◆	2,000

凡例:○開花 △摘果 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
ソルダム	本/10a 40	基肥	9	12	8	11月下旬～12月上旬
		追肥	3	0	7	5月下旬
		追肥	3	0	0	8月下旬
		合計	15	12	15	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。

3 その他

- ア 基肥は11月下旬以後に施用し、凍害の発生を防ぐ。

⑤うめ

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
うめ	露地		○	○	△		×	◇		◇		◆	◎	1,000

凡例:○開花 △摘果 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
白加賀 南高 紅梅	本/10a 40	基肥	10	10	8	11月下旬～12月上旬
		追肥	3	0	3	7月上旬
		追肥	3	0	3	9月上旬
		合計	16	10	14	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ 緩効性肥料の活用も可能である。

⑥ゆず

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ゆず	露地		◎	◆		○	◇		△			◇	×	2,000
												×	×	

凡例:○開花 △摘果 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
在来	本/10a 40	基肥	11	11	11	3月上旬
		追肥	4	0	4	6月中旬
		追肥	7	7	7	11月中旬
		合計	22	18	22	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ 緩効性肥料の活用も可能である。

⑦キウイフルーツ

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
キウイ フルーツ	露地	◎	◇			○	◇ △				×	×	◆	2,000

凡例:○開花 △摘果 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
ヘイワード	本/10a 33	基肥	9	13	9	11月下旬～12月上旬
		追肥	3	0	3	2月下旬
		追肥	3	0	3	6月中旬
		合計	15	13	15	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。

3 その他

- ア 基肥は11月下旬以後に施用し、凍害の発生を防ぐ。

⑧いちじく

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
いちじく	露地			◆		◇		◇	◇					2,500
				◎					×			×		

凡例:○開花 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
樹井ドーフィン	本/10a	基肥	6	6	4	3月中旬
	66	追肥	4	3	3	5月中～下旬
		追肥	2	2	2	7月中～下旬
		追肥	2	2	2	8月下旬～9月上旬
		合計	14	13	11	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。

3 その他

- ア 秋肥は生育が低下した場合、9月下旬以前に速効性肥料で窒素成分1kg/10a程度の施用にとどめる。
イ 目標とする収穫段数は20段程度のため、実際の収穫段数によって施肥量を調整する。

⑨ブルーベリー

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ブルーベリー	露地			◆		◇			ハイブッシュ ◇	ラビットアイ ◇				1,000
		○		○			×	×	×	×				

凡例: ○開花 △摘果 ×ー×収穫 ◎せん定 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

品種	栽植本数		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
ラビットアイ種 ハイブッシュ種	本/10a 125	基肥	4	3	3	3月中旬
		追肥	1	1	1	5月中～下旬
		追肥	1	0	1	8月下旬(9月下旬)
		合計	6	4	5	

【施肥・土壌管理】

1 土づくり

ア 土壌酸度を考慮して、ピートモスを0.6t/10aを施用し、土壌を改善する。

2 施肥

ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。

3 その他

ア 根が浅いため、株元に稲わら、麦わら等でマルチを行い、乾燥を防止する。